

平成 30 年 12 月 18 日

生活交通確保計画(案)
遠州鉄道(株)路線について

(企画部市民協働課)

1 要旨

平成 30 年 10 月に遠州鉄道(株)が、浜名線(浜松駅～湖西市役所)の平成 32 年度(平成 31 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日)の運行について、静岡県生活交通確保対策協議会に対し単独継続困難の申し出を行った。

11 月 7 日(水)に報告された平成 30 年度の収支状況、収支予定等の情報に基づき検討結果を報告する。

2 対応

浜名線は、地域の基幹路線であり、地域住民の日常生活の足として欠くことのできない路線であるため、継続運行を要望する。また、次の書類を静岡県生活交通確保対策協議会へ提出する。

- ・様式第 5 号 乗合バス路線・自主運行路線調整結果報告書
- ・様式第 6 号 湖西市生活交通確保計画案
- ・様式 1 地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート
- ・様式 3 地域間幹線系統市町取組シート

3 収支状況(平成 30 年度:平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

様式第 6 号のとおり

4 収支予定計画(平成 32 年度:平成 31 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日)

様式第 6 号のとおり

乗合バス路線・自主運行路線調整結果報告書

番 年 月 日

静岡県生活交通確保対策協議会長 様

湖西市長 影山 剛士 印

静岡県生活交通確保対策協議会長から要請のあった路線について検討・調整を実施したので、次のとおり報告します。

事業者又は市町コード	申し出番号	系統名(路線名)	検討・調整結果	検討・調整の経緯	生活交通確保計画への記載
108 18	4	浜名線	国庫補助による路線の維持	平成30年11月19日浜松市と協議 平成30年12月18日湖西市地域公共交通会議で協議 住民の足として欠くことができないため路線の継続運行を要望。	○

※検討・調整の経緯はなるべく詳細に記載すること。記載に代えて議事録等の検討・調整経緯が詳細に明記されている資料を添付してもよい。

※生活交通確保計画への記載の欄には、申し出に係る前年度の生活交通確保計画に記載のある場合には○、ない場合には×を記入すること。

湖西市生活交通確保計画案

番 年 月 号 日

静岡県生活交通確保対策協議会長 様

湖西市長 影山 剛士 印

平成31年度の生活交通確保計画案を作成したので、提出します。

事業者番号 又は 市町コード	申し出 番号	区分	系統名 (路線名)	運行系統			輸送サービスの範囲(路線沿 線の需要と特性、地域住民 数、利用者の属性など)	輸送サービスの形態		関係市町名				運行時間帯
				起点	経過地	終点		運行形態	運行事業者名					
108	4	現行	浜名	浜松駅	舞阪協働 センター	湖西市役所	浜松市から湖西市、生活路線	乗合バス	遠州鉄道(株)	浜松市	湖西市			5:57~18:41
		計画	浜名	浜松駅	舞阪協働 センター	湖西市役所	浜松市から湖西市、生活路線	乗合バス	遠州鉄道(株)	浜松市	湖西市			6:09~18:41

事業者番号 又は 市町コード	申し出 番号	区分	キロ 程 (km)	1日 あたり 運行回数 (回)	平均 乗車 密度 (人)	輸送量 (人・回)	実車走行 キロ 程 (km)	競合区間 キロ程 (km)	経常費用 (千円)	経常収入 (千円)	欠損額 a (千円)	競合区間 の カット額 b (千円)	合計額 a-b (千円)	公的 支援 の 方法	収支改善策	継 続 協 議
108	4	現行	22.6	4.6	5.2	23.9	76,850.4		29,124	16,243	12,881		12,881	国庫	適正なダイヤの作成、 バス教室の開催、エコ ドライブの徹底、営業 拠点の見直し、ICカー ド「ナイスバス」を使っ たキャンペーン	
		計画	22.6	3.0	5.2	15.6	49,384.5		18,715	10,438	8,277		8,277			

※路線名欄には、系統毎に記載すること

※現行の欄には、事業者及び市町が提出した申出書及び申し出路線の現況の最終年度の数値を記入すること。

※運行形態の欄には、乗合バス、自主運行バス、乗合タクシー、スクールバス、医療バス、無料バスなどの種別を記入すること。

※運行事業者の欄には、運行形態に関わらず、実際に運行事業を行う者の事業者名又は団体名を記入すること。

※競合区間欄には、当該系統に競合する系統数、競合する区間の競合率及び総輸送量並びにキロ程を記載すること。

※競合区間のカット額は、カットの対象となる系統について、欠損額に[競合区間キロ程/系統キロ程]を乗じて得られた額を記載すること。

※平均乗車密度、輸送量、経常費用、経常収入、欠損額の計画はその算出根拠を別途添付すること。

※国庫補助対象となる系統については、前年10月~当年9月を1年度として算定した数値を記入すること。

※継続協議欄には、直近の申し出より以前に申し出を行った系統であって、協議結果が継続協議であったものについては、○を記載すること。

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

4

(様式1)

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

浜名線(浜松駅～舞阪協働センター～湖西市役所)

計画策定年度 平成29年度

運行期間 平成29年10月1日～平成30年9月30日

評価年度 平成30年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A B · C	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有 · 無	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有 · 無	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	事業者計画数と運行実績との比較	(1,704.0)回 (4.6回/日)	(1,704.0)回 (4.6回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	実績収支率	56.7%	55.8%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と運行実績との比較	95,894人	100,407人	3	計画数+5% 6点 計画数±5% 3点 計画数-5%未満 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(4)箇所 バス停(5)箇所	13	拠点(駅・BT) 1件2点 その他のバス停 1件1点 限度20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	12.5%	10	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	実施施設数(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等)	—	可美中学校 篠原小学校 新居小学校 スズキ 湖西病院 湖西市役所 舞阪協働センター JR浜松駅 JR高塚駅 JR舞阪駅 JR弁天島駅 JR新居町駅 JR鷺津駅	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の国が定める地域キロ当たり経常費用単価との比較	—	378.97円	0	単価以上 0点 単価～-5% 3点 単価-6～-10% 6点 単価-11～-15% 9点 単価-16～-20%超 12点	
合計				47	評価指標	A · B · C

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	湖西市から旧新居町・旧舞阪町を経由し、浜松駅に至る路線。鷺津駅や新居町駅等JR駅への接続をしている。市立湖西病院への通院や通勤、通学の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ・グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ・小学生向けのバス教室を実施するとともに、バスの乗り方を説明したDVDを作成して、運行エリア内の小学校へ配布。 ・運行エリア内の施設と連携して、施設へバスで来られた方に対して、インセンティブを付与(ICカード読み取り機「トップタッチ」)の活用。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃箱から取得されるバスの全運行データを収集して、ビッグデータを半自動的に加工するソフトを活用して、現況を把握。それをもとに旅客動向に応じたダイヤを作成(平成30年3月にダイヤ改正を実施)。 ・ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ・小学生向けのバス教室を実施、運行エリア内の小学校へDVDを配布。 ・浜松市美術館等と連携して、イベント時に施設へバスで来られた方に対して、入館料割引券等を進呈。 ・高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ・定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを開始。
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで燃費改善を図るとともに燃料費の抑制につなげる。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や事故の撲滅に努めた。 ・営業窓口の改編を実施して、間接部門の人件費抑制に努めた(平成30年6月に2つの窓口を1つに統合)。 ・60歳以上の乗務員の再雇用を強化した。また、人事部に設置された「運転者採用専門チーム」にて、採用活動の強化を図った。 ・バスに搭載している音声データやダイヤデータの注入方法、メモリーカード方式から金庫方式に変更したことにより、日常的なデータ入れ替えが可能となった。結果、データの注入に要する時間を削減した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】</p> <p>浜松駅バスターミナル・弁天島温泉駅・新居町駅・鷺津駅</p> <p>【バス停】</p> <p>成子坂・新居栄町・清源坂・本興寺前・湖西市役所</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>可美中学校・篠原小学校・新居小学校・スズキ・市立湖西病院・湖西市役所・舞阪協働センター JR浜松駅・JR高塚駅・JR舞阪駅・JR弁天島駅・JR新居町駅・JR鷺津駅</p>

市町名

湖西市

系統名	取組内容
浜名線	<p>湖西市バス運行評価改善委員会で、民間バス路線として湖西市地域公共交通網形成計画に基づき、昨年度の運行内容の評価を受け改善に活用している。</p> <p>バスの日イベントで、市と事業者が協力して運行内容(経路・時刻)を説明、啓発品の配布をする予定であったが、天候不順のため、中止となった。</p> <p>その他の市内バス事業者と意見交換を実施した。</p>

(*)当該系統に対するMMなど利用促進に関する取組や金銭的負担等について具体的に記載